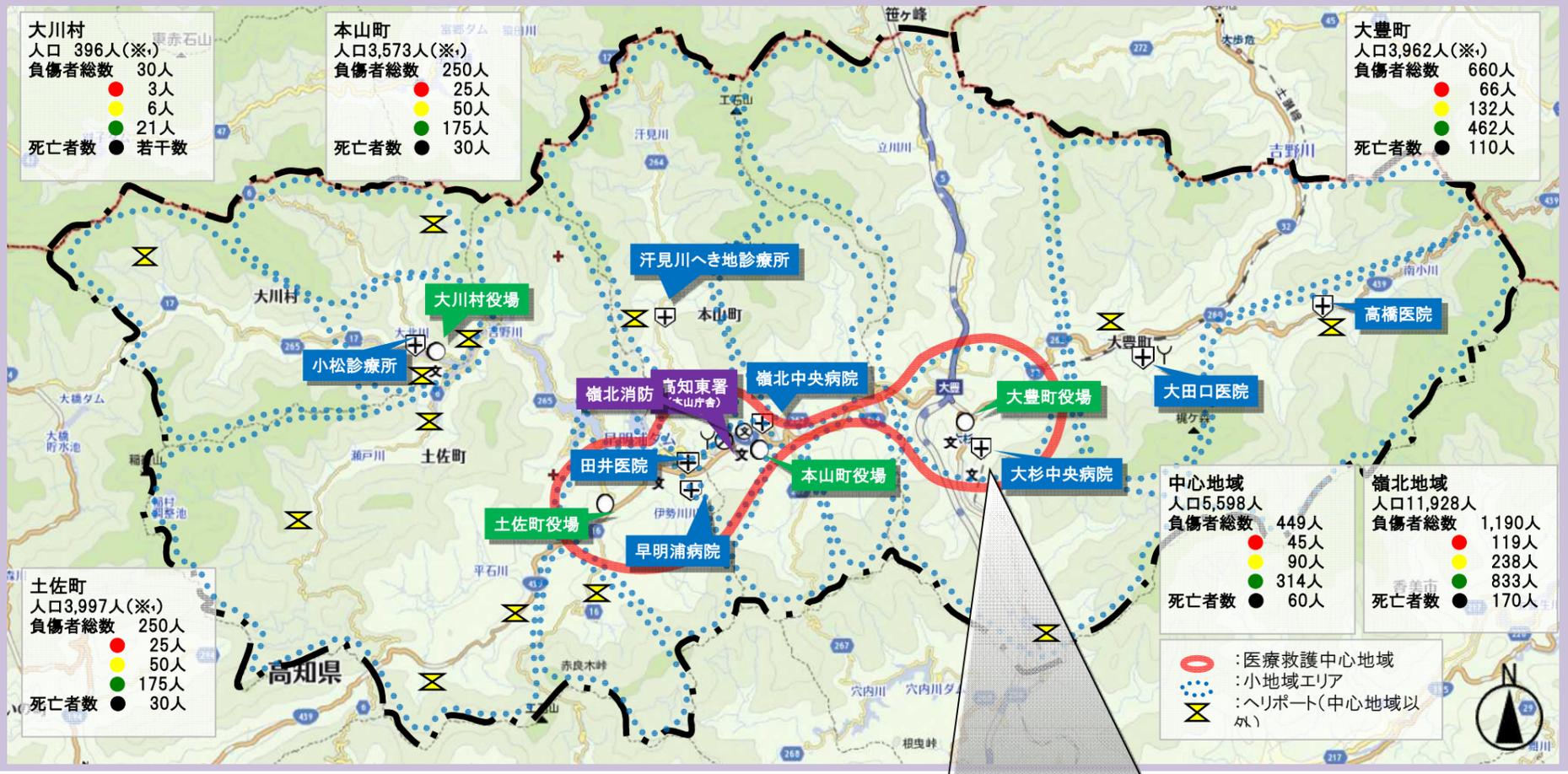


嶺北地域の医療救護活動の目指す姿

嶺北地域（本山町・大豊町・土佐町・大川村）の負傷者数等（L2想定）

※：人口は平成27年国勢調査結果による。



目指す姿

■嶺北地域の特性(強みと弱み)

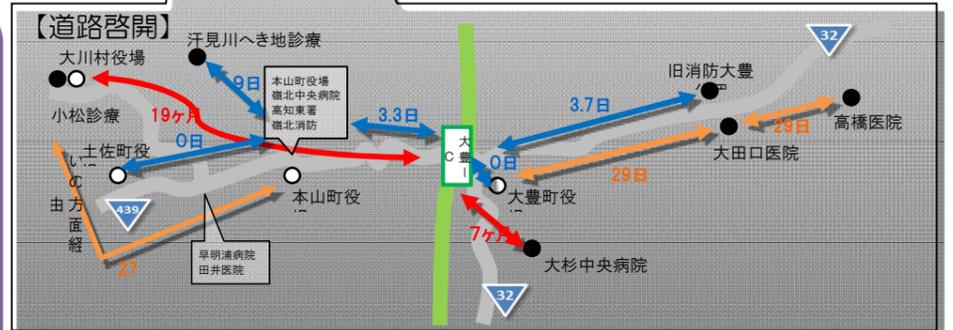
- (強み) 平時から消防団、自主防災組織、民生委員等による住民力が強い。
大杉～田井間の幹線道路沿いに多くの医療福祉資源と約半数の人口が集中。
19箇所のヘリポートと高知道の存在。
- (弱み) 休日夜間には医療福祉人材が激減し、従事者の搬送が必要。
道路が寸断され、長期孤立集落が多数発生する。
ライフラインや通信の復旧が遅れる(特に、長期孤立化集落)

■地域と時間帯を分けて検討

- ・比較的早期に道路啓開される中心地域と長期孤立化が予想される地域に分けて検討
- ・平日勤務時間内と夜間・休日に分けて検討

■救護活動検討の基本方針(下記のイメージを参照)

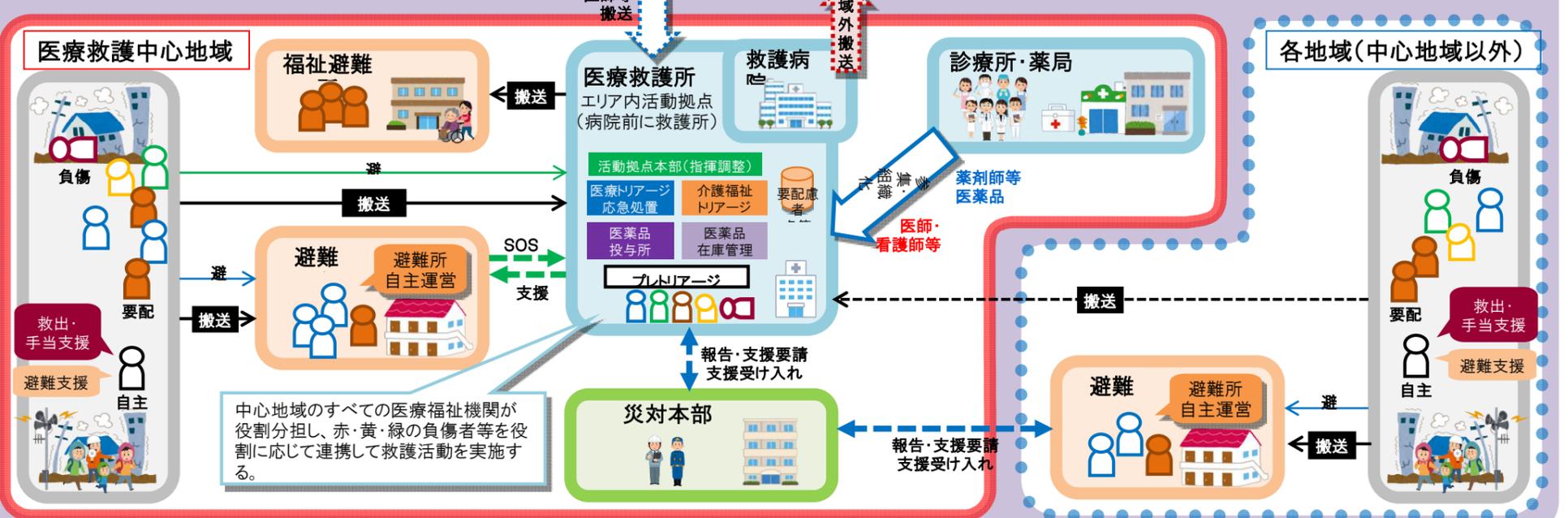
- ・嶺北全体で行政、医療福祉・応急救助機関、地域住民が総力を挙げて救護活動
- ・嶺北全体の行政と応急救助機関等による医療救護統合本部的なものを検討
- ・中心エリアの3病院と診療所・薬局、介護福祉施設による一体的な救護体制の検討
- ・病院等の非常用電源(燃料)、通信手段、水、医薬品・医療資器材、ベット等の確保
- ・住民による孤立化対応と応急手当、救護所までの負傷者・重点継続要医療者の搬送などを検討
- ・高速道やヘリを活用した患者搬送、医療物資等の搬送の検討
- ・4町村と県による検討会の継続開催と訓練実施による具体検証



嶺北地域の負傷者等と資源

	大豊町 (中心部)	本山町 (中心部)	土佐町 (中心部)	大川村 (中心部)	嶺北地域 (中心部)
人口	3,962 (8,000)	3,573 (2,117)	3,997 (2,681)	396 (0)	11,928 (5,598)
負傷者	660 (133)	250 (148)	250 (168)	30 (0)	1,190 (449)
人工呼吸器	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
人工透析	5 (1)	12 (9)	15 (10)	1 (0)	33 (20)
酸素必要者	9 (2)	7 (3)	7 (5)	2 (0)	25 (10)
病院等 (病床数)	2 (1)	2 (1)	2 (2)	1 (0)	7 (4)
介護施設等 (定員)	18 (18)	234 (180)	167 (167)	0 (0)	419 (365)
ヘリポート	4 (1)	2 (1)	9 (4)	4 (0)	19 (6)
避難所	7 (1)	29 (16)	68 (29)	4 (0)	108 (46)
福祉避難所	1 (0)	2 (1)	1 (1)	2 (0)	6 (2)

嶺北地域の救護活動イメージ(例)



課題及び今後の対応(中心地域)

- ・大杉・本山間の道路啓開前は2つのエリア、啓開後は1つのエリアとして検討
- ・医療救護統合本部的なものと医療福祉機関の連携体制について検討
- ・嶺北中央病院は、赤・黄と透析、その他は緑を中心とする救護体制の構築
- ・病院等の通信、非常用電源、医薬品等の確保について検討

課題及び今後の対応(中心地域以外)

- ・13箇所のヘリポートを活用。大川村はダム湖を活用して船で人・物を搬送
- ・住民による負傷者の手当てと救護所までの搬送、重点継続要医療者の搬送
- ・慢性医薬品の備蓄と搬送方法の検討
- ・非常用通信手段の整備と連絡体制の確保